

みなさんは『いじめ』をどのように思っているだろうか。私は小学校のときに友達からいじめられていた。想像していたことと、実際受けてみるのでは苦しきは全然違った。それに友達から受けていたので、なんだか裏切られたようで心が傷ついた。だれかに言いたくても信じてくれないのではと不安になり、だれにも言えなかった。そのうちに友達のいじめはエスカレートした。初めは悪口を言うくらいなのであまり気にしてはいなかったが、エスカレートしていき、

「バカチバ！死ぬ。」

などと言われたり、ペンや筆箱をかくされたり、机も移動させられたりした。つらかったが、平気を装い、

「だーれ、これ？」

と笑って戻したりしていた。しかし、それが逆効果だった。先生が来る前に直してしまうので、それをいいことに何度もやってきた。学校に行くのがいやになった。親は何も知らないから、登校をしぶると無理にでも行かせようとす。そういう日々がいやになった。それでも友達はやめてくれない。最終手段も考えた。

しかし、いつものように学校に行き、日課のようになった机を直していると、一人の友達が、

「やりすぎだよ。そういうの良くない。」

といじめていた友達に言うてくれた。私はその一言がうれしかった。

その後、いじめていた友達は今までかくしていたものすべて返してくれ、いじめもなくなった。毎日つけていた日記は、もうぐちゃぐちゃに黒くつぶすこともなくなり、楽しかったことを書くようになった。

あとから、いじめていた友達と話をした。その友達は家で一人孤立することが多く、イライラしてやっただのことだった。私はその子の話を聞き、（なにもしていないのに、いじめたりするのは良くないけれど、親もすっかりと見てほしい。すっかりと私達を見て感じてほしい。言葉では伝えられない苦しさや悲しさ、うれしさを感じてほしい）と思った。子どもたちの間で起こっている、子どもだけのことだと思わないでほしい。親にも何か原因があるのかもしれない。

私はいじめが解決した今も、また同じことがあるのではないかとビクビクし、みんなにまだ心から笑えない時もある。

私はこのことをきっかけに、家でコミュニケーションを大切にしている。その日学校であったことを話し合うようになった。私と同じ目に遭ってほしくないのです、少しでも元気のない人には声をかけたり相談に乗ったりしている。

